

早期食道癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後狭窄に関する検討

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2014年1月より2027年9月までに当院において、消化管早期悪性腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後狭窄予防を行った20歳以上の患者さま。

2. 研究目的・方法

早期食道癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術による偶発症としての術後狭窄の発症率とリスク因子を、すでに得られている診療録の情報を元に探索することを目的としています。

施設院長承認後 ～ 2030年9月

3. 試料・情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、妊娠の有無、原疾患、呼吸器疾患、プレドニゾロン投与情報、副作用、内視鏡的粘膜下層剥離術情報及び術後狭窄の有無 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

消化器病センター・佐々木亜希子

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

0467-46-1717

(2022年9月21日作成 (第2.0版))